

東和作戦会議会報No.34

令和4年6月29日発行

一般社団法人東和作戦会議



〒028-0114

岩手県花巻市東和町土沢5区372

電話：0198-29-6500 FAX：0198-29-6501

メール：omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://touwa-noutabi.com/>

広報担当 多田悦子

6月5日(日)「^{えみし}蝦夷ゆかりの地を訪ね、山野草を食す」イベントを受け入れました

岩手の歴史文化を掘り起こし発信する、岩手フィールドワーク事業の一環として Iwate, the Last Frontier 主催のフィールドワーク『もののけ姫』から読み解く岩手が成島三熊野神社、丹内山神社などで行われました。



丹内山神社の小原明子宮司(物部氏二十四代)が丹内山神社と、平泉藤原氏の関係や、鉄、砂金、金の発掘の歴史などについて解説しました。参加者は、巨岩「胎内岩」をくぐるなどして、自然の持つ神秘を体感しました。

県内はもとより東京、福島などから参加した一行13名は、山野草インストラクターの藤本眞津子さんの指導のもと、山野草の採取を行い、昼食時には、「やなのうえプロジェクト」で、摘みとった山野草を参加者自らピザにトッピング。「やなのうえ」自家製ピザ窯で焼いて味わいました。



「野草食べるの〜？」と不安げだった参加者も「うわっ、うんめ〜」と感激。



東和作戦会議では、Iwate, the Last Frontier からの依頼を受け、「食の体験」部分について受入れをしました。東和町グリーンツーリズム協議会と連携し、山野草の採取体験とその調理を谷内地内と小友の「やなのうえプロジェクト」で行いました。



お客様迎え入れのため、準備に余念のないスタッフ。

この日のメニューは、ワサビと土筆の炊き込みご飯。シロツメクサの葉をトッピングした味噌ベースの特製ピザ。ミズヤノカンゾウの味噌汁。クレソンのサラダ。フキの酢の物。アカツメクサの花のゼリー。ドクダミジュース、ミントティーなども用意しました。



大自然の恵みに感謝し「いただきます」

6月4日5日の二日間にわたって行われたこのツアー。

前日は奥州や平泉、北上など蝦夷ゆかりの地を探訪しました。参加した皆さんは、丹内山神社では自然の持つ神秘が信仰に繋がっていくことを実感。縄文から蝦夷、そして現代まで続く東北人の血脈。虐げられてもなお、逞しく切り開いていく底力はどこから湧いてくるのかを探りたいなどと話し、主催者は「今回は蝦夷に焦点をあてたが、これからも視点を変え、岩手の歴史と文化の魅力を発信していきたい」「歴史を支える食を考えるうえで、山野草について学べたことは収穫だった」と話していました。

土沢七夕まつり3年ぶりに開催決定♡♡

8月6日(土)7日(日)土沢商店街

東和名物「土沢七夕まつり」が3年ぶりに開催されることが決まり、東和作戦会議が事務所を置く中町の「中町振興会」では、6月20日の例会で実施内容などについて話し合いが行われました。

東和作戦会議は、研究所店頭へ「七夕飾り」を設置することで、イベントに参加することになりました。

飾りは、研究所が借りている若専商店の営業時代に飾っていたくす玉を、お借りすることになりました。

花紙を貼り付けたくす玉、吹き流しを作成して笹竹に取り付けます。笹竹は商工会で一括購入したものを使用することになっています。必要物品の経費については事業費から捻出します。

コロナ禍で何事も沈みがちな昨今、「星に願い」をこめて華やかに、賑やかに盛り上げましょう！

みなさまご協力をお願いします。詳しくは7月にはいってから改めてお知らせします。

この他中町振興会では、ビアガーデン、アコーディオン演奏会などを予定しています。



写真はインターネットより借用

イベントリポート

東和地域内外で開催されるさまざまなイベントに参加してリポートします。

東和作戦会議とも親交のある川崎市の東和町 OB 会事務局長諏佐裕子さんが理事を務めている、NPO 芸術村あすなろのボランティア公演が6月12日東和温泉ビアガーデンで、ガーデン&マーケット in 東和のイベントに参加する形で行われました。NPO 芸術村あすなろのメンバーに盛岡や沿岸出身者も居る事から、15年以上前から来県して、奉仕公演しています。東和には川崎市との交流をご縁に、これまでも来訪しています。

主な演奏内容：歌・ピアノ・トーンチャイム・バイオリンなどにより12曲(星めぐりの歌、この広い野原いっぱい、夏は来ぬ、我は海の子、アルデバラン、花は咲く、ゴセックのガボット、タイスの瞑想曲、私の太陽、参加者と合唱、島唄)



日曜日の昼下がりのガーデン、まぶしい陽光のもと、グロッセ龍太さんの司会で始まったコンサート。素敵なドレス姿の女性3名とダンディなおじ様2名、ピアノと指揮者。トーンチャイムの「星めぐりの歌」から始まり、素晴らしい声量による懐かしい歌の数々。私たちは思い思いに芝生に座り、あるいはお店の日陰や木陰にたたずみ、本当に聞きほれてしまいました。1時間はあっという間に経ち、夢のようなひと時を過ごしました。東和町でこんなに幸せに満ちたさわやかな時間を過ごせて最高！！

(ピアノの譜面めくりをしていたのは、「元姫神せんせいしょん」のギター、大久保さん！音楽仲間で大槌町からかけつけたそうです)
(文子)

前日の天気予報は、昼前後に雨。予報が外れるようにと祈って会場へ。何しろ今回は、東和のためだけに川崎市から駆け付けてくださり、さらに応援団5名も合流するのだ。あすなろの皆さんは、前日から東和入りして、昨夜も今朝もリーサルに余念がない。12時30分、雨雲はどこかへ去り、滴る緑の下、星めぐりの歌でコンサート開演。その声量が樹々を揺らして会場に響き渡り、思わず「なんて素敵！」と7人に注目が集まった。観客は、おなじみの歌には声を合わせ、手拍子を打ち、バイオリンや電子ピアノに聴き惚れた。予定の12曲が終わるとアンコールの声が鳴りやまず、島唄など3曲を会場と合唱して、樹陰の特別音楽会は終わった。帰り際にかわいい男の子が一人一人にお土産を渡す場面もあり、会場は笑顔にあふれていた。(和)